



第199回 防災まちづくり談義の会

# いのちとくらしを守る ～防災と福祉の融合～

地域における住民  
同士の日頃からの  
つながり(コミュニティ)  
が大切と訴える

現地参加・Zoom (オンライン) 参加 併用 (要申込下記参照)  
講演オンライン入室 14:15~

2024年9月19日(木) ① 定例会 13:00~14:00 (意見交換)  
② 防災まちづくり談義の会 14:30~16:00 (講演・質疑応答)

会場：かながわ県民サポートセンター 11階 講義室  
住所：横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

講師：駒澤大学文学部社会学科 教授 川上 富雄 氏



## 講演要旨

地域での支え合い活動も、災害時の避難支援も地域・ご近所での顔の見える関係が基盤となる。防災対策や要援護者支援対策の動向を踏まえながら、地域における「防災と福祉の連携」「共感関係の回復」について考えます。



## 講師：川上雄氏 プロフィール

1990年同志社大学文学部卒業、岡山県社協、広島県社協、日本社会事業大学、川崎医療福祉大学勤務を経て、2009年より駒澤大学。その間、2008年日本社会事業大学院 博士後期課程満期退学。地域福祉、社会福祉協議会や民生児童委員の活動論、地域防災と地域福祉などを研究 講演タイトルいのちとくらしを守る～防災と福祉

**講演会趣旨** 能登半島地震では、少子高齢化時代の地域社会における災害の問題が浮き彫りになりました。都市部の地域でも、災害対策基本法に示された「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」など、行政としては取組を進めていますが、高齢化が進んだ自治会等では対応が追いついていない実態があります。今回は、「福祉は防災であり、防災は福祉である」というご講義を展開されている駒澤大学教授川上富雄先生を講師としてお招きし、本年度本会テーマである「防災と福祉の統合」に向けて学びと考察を深めたいと思います。(塾長 鷲山龍太郎)

主催 「防災塾・だるま」(ホームページ) <http://darumajin.sakura.ne.jp>

参加方法 ★本会会員・受講料無料

★会員以外の方の申込フォーム <https://daruma199.peatix.com/view>

「本講座は無料です」上記の Peatix サイトからお申し込みをお願いします。

Zoom 情報が自動的に送付されます ※詳細は HP をご参照ください。



かながわ県民サポートセンター  
-センターQRコード

次回：第200回「防災まちづくり談義の会」2024年11月15日(金) 15時~16時45分  
テーマ：「防災塾・だるま」会員の活動報告と未来への提言 (小発表)  
会場：横浜市青少年育成センター第二研修室他 (関内ホール 地下2階)

編集：田中喜世美